令和５年８月２８日

保護者の皆様へ

いわき市立中央台東小学校長　松﨑　健一

児童の携帯電話・ゲーム機等の利用についてのお願い

～ネットの危険から子どもたちを守るために～

晩夏の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、２学期が始まったばかりですが、これまでの事例を踏まえ保護者の皆様にお願いがあります。それは、児童の「ネットを介したいじめやトラブル」の防止です。

今の子どもたちは、携帯電話やゲーム機を介して、ネットやＳＮＳ等で友達や知らない第３者と簡単に繋がってしまいます。そして、友達と繋がれば話が盛り上がり、他人の悪口や安易な考えに走りやすい特別な環境となります。さらに、第３者からは、ゲームのアイテムをあげると言われ、お金をだまし取られた例もあります。

大切なことは、保護者の皆様が、子どもたちの携帯電話やゲーム機等の利用状況をしっかりと把握し、その利用を制限することです。家庭における利用の把握と制限は、保護者の皆様の責務と考えます。お子さんやその友達皆が、気持ちよく生活できるためにも、トラブルなどに巻き込まれないためにも、別紙資料をお読みいただき、お子さんへの繰り返しのご指導をよろしくお願いします。

令和５年３月発行

ネットの危険からお子様を守るために

今、保護者ができること・すべきこと

▶ 身近なところでもこんなことが！ この後どうなるの？

ネットいじめ	＜事例１＞ SNS 上で友人の悪口を載せたら、その友人が学校に来なくなってしまった。そんなつもりはなかったが、みんなにせめられて自分も嫌な思いに･･･。	◆ネット上でのやりとりが広がっています。ネット上での悪口や友人になりすました行為は、いじめや人権侵害につながる恐れがあり、侮辱罪、名誉毀損罪、脅迫罪などの罪に問われる場合もあります。
ネット依存 高額請求	＜事例２＞昼夜逆転により、体調不良、朝起きられず登校しぶりも。スマホを手放すとイライラに。ゲームで高額の課金、オンラインショッピングサイトでの詐欺被害など、お金に係わるトラブルも。	◆ゲームのやり過ぎなど、ネット依存は生活習慣の乱れや睡眠時間の減少を引き起こし、学力低下や高額請求を招くことにもつながっています。親の目が届きにくいところでトラブルに発展し、その対応に苦慮する場面も増えているので要注意。
誘い出し	＜事例３＞ SNS で知り合った人と何度かやりとりする中で、直接会って悩みを聞いてくれる約束をした。実際会ってみると･･･。誘拐未遂事件に発展したことも･･･。	◆ネットの他に連絡できない知り合いは、知らない人と一緒です。ネットで知り合った人と直接会って、性犯罪に巻き込まれたり、生命の危機に遭う重大事件が起きたりしています。
画像流出	＜事例４＞友人に下着姿の写真や裸の写真を自撮りして送ったら、知らない人から投稿がくるようになった。だまされたり、脅されたりして送信してしまう被害も･･･。送付先を間違えてのトラブルも。	◆自撮りした写真や動画を送信してしまい、悪用されてネット上で広まったり、写り込んだ写真や画像の情報で個人が特定されたり、友人を巻き込んだトラブルが起きています。罪に問われる場合もあります。
個人情報 流出	＜事例５＞友人のアカウントや、住所、氏名、学校名などを他人に教えてトラブルに発展したり、限られた人しか見られないと思い込み、情報が拡散して困るケースも。	◆一度 SNS 上にアップした書き込みや個人情報は、すぐに削除しても、誰かがスクリーンショットで保存し拡散されてしまう場合もあり、取り返しがつかなくなることもあります。

【 困った時には、ぜひ相談を！】

- □ 最寄りの警察署または警察相談専用電話 -------- ☎ ＃９１１０
- □ ２４時間子供 SOS ダイヤル（文部科学省） ------- ☎ ０１２０－０－７８３１０
- □ チャイルドライン ---------- ☎ ０１２０－９９－７７７７
- □ 子どもの人権１１０番（法務局・地方法務局） --- ☎ ０１２０－００７－１１０
- □ すこやか教育相談（市総合教育センター） -------- ☎ ０２４６－２３－７２６１

いわき市生徒指導委員連絡協議会

▶ トラブルや犯罪被害を防止するには、どうすればいいの？

親子で納得できる家庭のルールを考えましょう！

	成長に合わせた段階	各段階でのルール例
ステップ1	【初めてのインターネット期】（閲覧のみ） **☆利用時間を家庭で決める** 生活のルールやリズムを守ることを前提に、利用時間をご家庭で話し合って決め、インターネットを見て楽しむ。	□ゲームとネットを合わせて、使っていいのは１日（　　）分までです。 □保護者にことわって、近くで使います。食事中や車の中では使いません。 □調べ学習等以外、ながら勉強はしません。 □夜（　　）時以降は使いません。
ステップ2	【インターネットレベルアップ期】 **☆家族限定でコミュニケーション** 利用時間のルールを守れて、使い方にも慣れたら、家族間でメールをやりとりしてみる。文章の書き方など、上手な気持ちの伝え方をアドバイスする。	□家の中ではリビングで使います。 □話しかけられたら手を止め応対します。 □決まった人からのメール以外、返信やアクセスはしません。 □変わったことや困ったことが起きたら、すぐに相談します。 □公共の場で利用する時は、ルールやマナーを守ります。
ステップ3	【SNS デビュー期】 **☆友人知人とのやりとりもチェックを** メールの利用に慣れたら、仲の良い友人や知人に限り、SNS やメールを許可する。家庭内のコミュニケーションを保ち、ときどきやりとりの様子を見せてもらう。	□自分や友だちの個人情報（名前・住所・学校名など）、写真はネットに公開しません。 □メールや SNS は実際に会ったことのある友だちだけにします。 □自分が言われて嫌なことや悪口は SNS やメールで送りません。 □目的をもって利用します。目的を終えたらスマホから手を放します。 □スマホはリビングで充電します。
ステップ4	【SNS レベルアップ期】 **☆自由に楽しませつつも見守りを** 家庭のルールや社会規範に加え、ネットの特性を理解できる段階になれば、広く活用を許可する。ただし、危険な行為や犯罪に巻き込まれることを防ぐため、使い方を把握し、必要な注意やアドバイスをしてあげることが大切。	□ネットや SNS で知り合った人とは直接会いません。 □ネットで買い物やお金のやりとりをする時は保護者の許可を得ます。 □ネット上に公開する内容は、送信前にしっかり見直します。 □他人に ID やパスワードは絶対に教えません。 □毎月の通信量（料）をチェックし、計画性をもって利用します。 □寝る時は自分の部屋に持って行きません。

☆家庭内のコミュニケーションがまず基本です。日頃から、お子様との会話を大切にしましょう。
☆保護者がまず率先してルールを守り、お手本になりましょう。
☆困った時の相談先を決めておきましょう。
☆保護者がお子様を取り巻く通信機器の現状を正しく理解し、成長に合わせてルールやフィルタリング（あんしんフィルター）の設定を見直しましょう。持たせるならば保護者の責任で！
☆（　　）に一度、お子様と一緒に利用状況を確認しましょう。

いわき市生徒指導委員連絡協議会